

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

## 着地型観光商品の開発、情報発信

# パラダイスナビ

### 活用した地域資源

やんばるの森、沖縄のビーチ、沖縄の空手、古武術、沖縄音楽、沖縄の伝統舞踊、沖縄島野菜、琉球びんがた製作所、工房、琉球ガラス製作所など

### 事業概要

沖縄観光はリピーターが約7割を占め観光スタイルも周遊型から個人の嗜好性に応じたフリーパックが多い。株式会社沖縄情報ドットネットではこの観光スタイル変化から着地型という商品形態に注目し、来沖するフリーパックの観光客に地元で新鮮な情報や観光プランを提案する。

### 生産者インタビュー

この事業を始めたきっかけは  
何ですか？

現在、当社の強みであるインターネットの情報配信や集積を行いながらホテルへツアーデスクを設置することで、観光客へダイレクトに情報提案やツアー商品の販売を行なっています。

また、当社ではもともと地域情報を集めた月刊誌を出版してきましたが、昨今の着地型観光商品市場の活発化により積極的に事業展開を計画しました。それは、今まで培ってきた地域情報の集積ノウハウをベースに観光情報を再構築し沖縄を訪れる観光客へ各種旅行商品の取次ぎ販売を行なう事業になります。

今回の商品開発と合わせて  
もう少し詳しく教えて下さい。

当社は現在、ロワジュールホテル、国際通りの2箇所にて観光客へ情報提案やツアー案内をしています。このカウンターを設置して解ったことは、来沖する観光客の皆さんがすでに何回も沖縄へきて、常に新しい情報や

体験を求めているということですが。

また、最近の観光客は、従来の物見遊山な観光ではなくテーマ性を強く持つていて地元住民や自然とふれ合いながらの体験型観光を望んでいます。

私達が提案するのは、地元からの情報を吸い上げ観光客のニーズに答えられた商品です。

### 他のツアー商品との違いは？

当社の考える商品定義は観光客の声（ニーズ）に触れる機会が多いためその情報を前提とした商品構成を行なっています。

同じようなプランは大手旅行者からも出ているのですが、決定的な違いは、きめ細かな商品開発と生きた情報提供です。

どうしても大手旅行者が提案するのは資本関係や連携、規模などを考えた商品が多くツアー内容も似かよいますが、当社はスタッフが業者の情報を集め、お客様に生きた情報を伝える為、提案している商品の内容は自ら体験して自らの言葉でお伝えしています。

### 今後の予定は？

情報発信の拡大ですね。当社はインターネットでの情報発信をしていますが、今後は携帯電話やホテル内テレビ等での動画を中心とした情報の発信や、アクトビラなど新しいメディアでの情報の発信も計画中です。

着地型という言葉は観光スタイルの変化に伴い生まれた言葉、着地型という観光スタイルが新たなビジネスを生み出し沖縄の観光産業に新しい流れを作っている。



株式会社 沖縄情報ドットネット  
西澤 望さん



株式会社 沖縄情報ドットネット

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-13-20 ラビエンテクス茂地3階  
TEL 098-862-2832 FAX 098-862-2833  
<http://www.okinawa-joho.net/>



ロワジュールホテル内 ツアーデスク